

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名): ジキチェック 蛍光磁粉 F-330
供給者の会社名称: 株式会社 タセト
住所: 〒251-0014 神奈川県藤沢市宮前 100-1
担当部門: 品質保証グループ
電話番号: 0466-29-5636
緊急連絡先及び電話番号: 0466-29-5638 (化学品技術グループ)
推奨用途: 磁粉探傷試験用 蛍光磁粉
使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性: 区分に該当しない(分類対象外)か分類できない
健康有害性: 区分に該当しない(分類対象外)か分類できない
環境有害性: 区分に該当しない(分類対象外)か分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル: なし
注意喚起語: なし
危険有害性情報: なし
注意書き:
【安全対策】

P260 粉じん/ミストを吸入しないこと。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P302+ P352 皮膚に付着した場合: 多量の水/石鹸で洗うこと。
P332+ P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。
P305+ P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+ P310 眼に入った場合: 直ちに医師に連絡すること。
P308+ P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

【保管】

P102 子供の手の届かないところに置くこと。
P403+ P233 容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

P501 内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量:

化学名(一般名)	濃度(wt%)	CAS No.	官報公示整理番号(化審法)
酸化鉄粉 (酸化マンガンとして)	55~65 (0.3%未満)	1317-61-9 (1344-43-0)	1-357 (550号)
有機蛍光顔料	25~35	非公開	非公開
合成樹脂	5~9	非公開	非公開
無機体質顔料 (酸化チタンとして)	1~2 (2%以下)	非公開 (13463-67-7)	非公開 (1-558)

危険有害成分:

労働安全衛生法 57条の2の通知対象物質

化学名	CAS No.
酸化鉄	1317-61-9
マンガン及びその無機化合物	1344-43-0

酸化チタン	13463-67-7
-------	------------

- 1) 2024年4月1日以降(基安化発0111第1号の要請に基づき記載)
- 2) 2025年4月1日以降(基安化発0111第1号の要請に基づき記載)
- 3) 2026年4月1日以降(基安化発0111第1号の要請に基づき記載)

4. 応急措置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：	気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合：	水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診察、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。 口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 安静にして直ちに医師の診察、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	小火災： 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂 大火災： 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤：	火源へ直接の棒状注水
火災時の特有の危険有害性：	火災によって有毒ガス等の発生、酸欠の恐れがある。
特有の消火方法：	本品自体は不燃性。火災時には、大量の水で消火する。 一般的な消火方法でよく、限定しない。 周辺火災の場合は容器を安全な場所に移動する。 消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 延焼を防ぐ為、安全を確認の上、周囲の可燃物を除去する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用防護服を着用する。火災規模に応じて、消火活動に危険を伴う場合は、速やかに退避する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 漏洩区域には、無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上から作業する。
環境に対する注意事項：	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め、浄化の方法及び機材：	漏洩物は、密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移す。後で廃棄処理する。湿らせてもよい場合は、粉じんの発生を防ぐために湿らせてから回収する。
二次災害の防止策：	排水溝、下水道、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項：	眼に入れないこと。 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
接触回避：	「10. 安定性及び反応性」を参照
衛生対策：	取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保管 安全な保管条件：	漏洩の防止。屋内貯蔵とし、換気良好な冷暗所に保管する。

容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して、空気との接触を避けること。
可燃物と同一個所に置かないこと。
関連法規に基づく規制及び条件で保管する。
周囲への流出、拡散による汚染に注意する。
安全な容器包装材料： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 3.0 mg/m³ 酸化鉄粉
許容濃度(ばく露限界値)
日本産業衛生学会： 1 mg/m³：吸入性粉塵、 4 mg/m³：総粉塵 酸化鉄 (第2種粉塵)
2 mg/m³：吸入性粉塵、 8 mg/m³：総粉塵 無機体質顔料 (第3種粉塵)
ACGIH： TLV-TWA 5 mg/m³ 酸化鉄粉
TLV-C 0.37 mg/m³ 有機蛍光顔料
TLV-TWA 10 mg/m³ 無機体質顔料
設備対策： この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
屋内作業のうち、通風が不十分な場所では発生源を密閉する設備、局所排気装置の設置、又は全体換気装置が必要である。
保護具 呼吸用保護具： 適切な呼吸用保護具(防塵マスク)を着用する。
手の保護具： 適切な保護手袋(不浸透性保護手袋)を着用すること。
「厚生労働省HP 透過試験データ一覧表」 参照
眼、顔面の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)。
皮膚及び身体の保護具： 保護長靴、耐油性(不浸透性・静電気防止対策用)前掛け、防護服(静電気防止対策用)等の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、形状、色など： 黄緑色粉末
臭い： なし
融点／凝固点： データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲： データなし
可燃性： データなし
爆発下限界及び爆発上限界
／可燃限界： データなし
引火点： なし
自然発火点： データなし
分解温度： データなし
pH： データなし
動粘性率： データなし
溶解度： 水に不溶
蒸気圧： データなし
密度及び／又は相対密度： 0.50 g/cm³
相対ガス密度(空気 = 1)： データなし
粒子特性： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： 通常取扱条件においては安定。
化学的安定性： 通常取扱条件においては安定。
危険有害反応可能性： 情報なし
避けるべき条件： 情報なし
混触危険物質： 情報なし
危険有害な分解生成物： 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)： 有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(経皮)： 有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(吸入:気体)： 有用な情報がなく分類できない。

急性毒性(吸入:蒸気):	有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト):	有用な情報がなく分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	有用な情報がなく分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	有用な情報がなく分類できない。
呼吸器感作性:	有用な情報がなく分類できない。
皮膚感作性:	有用な情報がなく分類できない。
生殖細胞変異原性:	有用な情報がなく分類できない。
発がん性:	有用な情報がなく分類できない。
生殖毒性:	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
誤えん有害性:	有用な情報がなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性:	水生環境有害性 短期 (急性)	有用な情報がなく分類できない。
	水生環境有害性 長期 (慢性)	有用な情報がなく分類できない。
残留性・分解性:	データなし	
生体蓄積性:	データなし	
土壌中の移動性:	データなし	
オゾン層への有害性:	有用な情報がなく分類できない。	

13. 廃棄上の注意

- 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報:
- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
 - ・ 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 - ・ 容器、機器装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
 - ・ 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。
 - ・ 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
 - ・ 容器は洗浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 - ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上輸送:	IMOの規制に従う。
航空輸送:	ICAO/IATAの規制に従う。
UN No.(国連番号):	該当せず
Proper Shipping Name(品名):	—
Class(国連分類):	—
Packing Group(容器等級):	—
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報:	
陸上輸送:	消防法等、該当法に定められた運送方法に従う。
海上輸送:	船舶安全法等、該当法に定められた運送方法に従う。
航空輸送:	航空法等、該当法に定められた運送方法に従う。
緊急時応急措置指針番号:	該当せず

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険有害物

化学名	CAS No.
酸化鉄	1317-61-9
マンガン及びその無機化合物	1344-43-0
酸化チタン	13463-67-7

がん原性物質: 該当せず

濃度基準値設定物質:	該当せず
皮膚等障害化学物質:	該当せず
有機溶剤中毒予防規則:	非該当
特定化学物質障害予防規則:	非該当
消防法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法: (PRTR法)	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則:	対象外

16. その他の情報

参考文献等:

- 1) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果
- 2) JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
- 3) JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- 4) 許容濃度の勧告、日本産業衛生学会
- 5) Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices、ACGIH
- 6) ㈱タセト 社内資料(原材料SDS)
- 7) 本データシートの最新版は、下記のホームページにてご確認ください。
<株式会社タセトホームページ//<https://www.taseto.com>>

記載内容の取扱い

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていない、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。